

2022年3月期上期 決算説明会



丸一鋼管株式会社

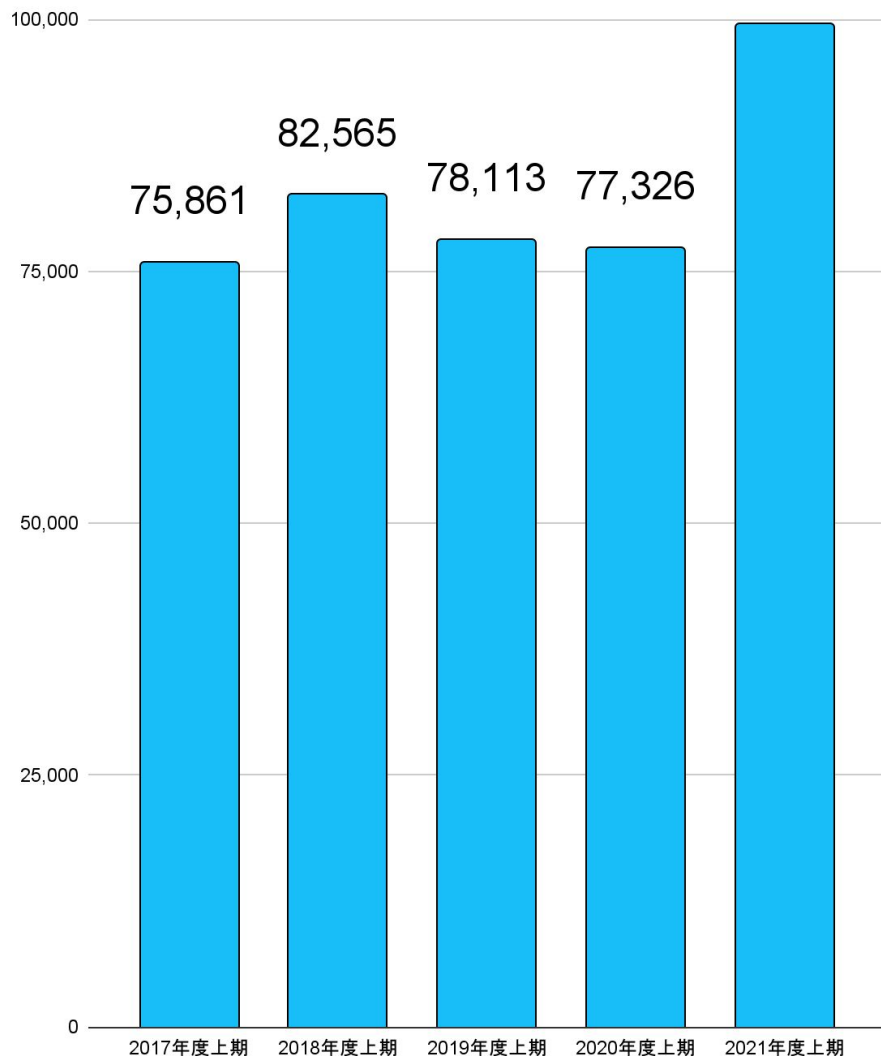
会長兼CEO 鈴木博之

I. 2022年3月期 上期 連結決算概要	…	P.1
II. 2022年3月期 上期 単体決算概要	…	P.13
III. 2022年3月期 業績予想	…	P.23
IV. トピックス	…	P.30
(参考資料)株主構成変化・株価の動き	…	P.38
(参考資料)海外各社の概要と業績の推移	…	P.41
(参考資料)丸一グループの特色	…	P.51

I . 2022年3月期 上期 連結決算概要

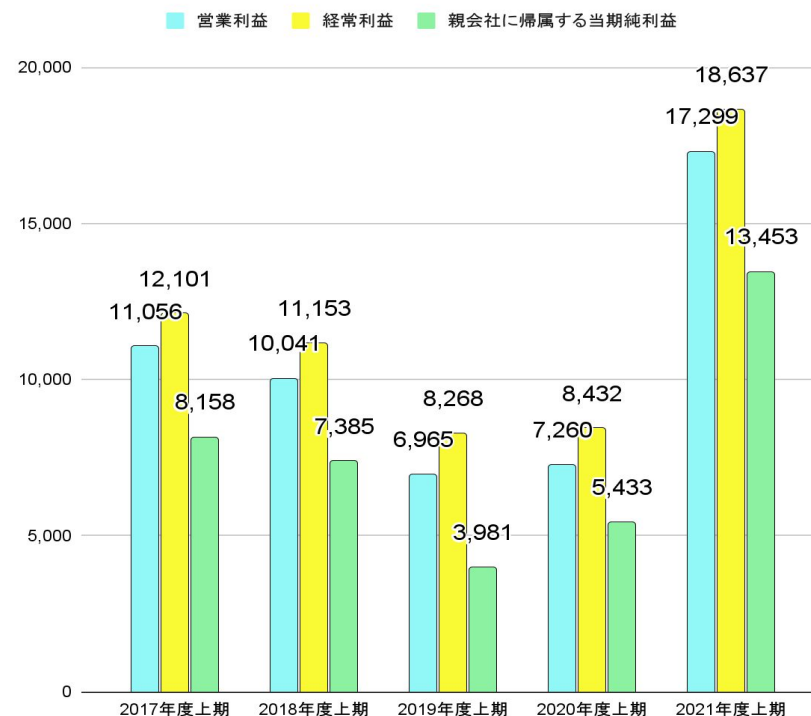
【単位 百万円】

売上高(百万円)



	2021年3月期 上期実績	2022年3月期 上期実績	増減率	8月発表 上期予想	増減率
売上高	77,326	99,551	+28.7%	99,400	+0.2%
営業利益	7,260	17,299	+138.3%	16,500	+4.8%
経常利益	8,432	18,637	+121.0%	18,000	+3.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,433	13,453	+147.6%	13,600	▲1.1%

利益の状況 (百万円)



連結営業成績 損益計算書

	2018年3月期 上期		2019年3月期 上期		2020年3月期 上期		2021年3月期 上期		2022年3月期 上期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	75,861	100.0%	82,565	100.0%	78,113	100.0%	77,326	100.0%	99,551	100.0%
売上原価	58,362	76.9%	65,928	79.9%	64,150	82.1%	63,386	82.0%	75,102	75.4%
売上総利益	17,499	23.1%	16,636	20.1%	13,962	17.9%	13,940	18.0%	24,449	24.6%
販売費及び一般管理費	6,442	8.5%	6,594	8.0%	6,997	9.0%	6,679	8.6%	7,150	7.2%
営業利益	11,056	14.6%	10,041	12.2%	6,965	8.9%	7,260	9.4%	17,299	17.4%
営業外収益	1,475	1.9%	1,692	2.0%	1,663	2.1%	1,454	1.9%	1,586	1.6%
営業外費用	430	0.6%	580	0.7%	359	0.5%	282	0.4%	248	0.2%
経常利益	12,101	16.0%	11,153	13.5%	8,268	10.6%	8,432	10.9%	18,637	18.7%
特別利益	223	0.3%	3	0.0%	658	0.8%	70	0.1%	50	0.1%
特別損失	14	0.0%	59	0.1%	2,094	2.7%	49	0.1%	71	0.1%
税金等調整前四半期純利益	12,310	16.2%	11,097	13.4%	6,832	8.7%	8,453	10.9%	18,616	18.7%
法人税等	3,846	5.1%	3,299	4.0%	2,789	3.6%	2,826	3.7%	4,083	4.1%
非支配株主に帰属する四半期純利益	306	0.4%	412	0.5%	61	0.1%	193	0.2%	1,079	1.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,158	10.8%	7,385	8.9%	3,981	5.1%	5,433	7.0%	13,453	13.5%

2022年3月期 上期 連結P/L前期実績との差額要因

【単位 億円】

	2022年3月期 上期			
	前期	今期	増減	増減率
売上高	773.3	995.5	+222.2	+28.7%
営業利益	72.6	173.0	+100.4	+138.3%
(受取利息・配当金等)	7.2	7.3	+0.1	
(持分法投資利益)	0.5	1.7	+1.2	
(その他営業外収入)	6.8	6.8	+0.0	
(支払利息)	0.9	0.5	▲0.4	
(不動産賃貸費用)	1.4	1.4	+0.0	
(その他営業外費用)	0.5	0.5	+0.0	
経常利益	84.3	186.4	+102.1	+121.0%
(固定資産売却益)	0.0	0.1	+0.1	
(投資有価証券売却益)	0.7	0.4	▲0.3	
(その他特別利益)	0.0	0.0	+0.0	
(固定資産売却損・除去損)	0.4	0.7	+0.3	
(投資有価証券売却損・評価損)	0.1	0.0	▲0.1	
(その他特別損失)	0.0	0.0	+0.0	
税金等調整前当期純利益	84.5	186.2	+101.6	+120.2%
(法人税等)	28.3	40.8	+12.6	
(四半期純利益)	56.3	145.3	+89.1	
(非支配株主に帰属する四半期純利益)	1.9	10.8	+8.9	
親会社株主に帰属する四半期純利益	54.3	134.5	+80.2	+147.6%

売上高	増減
単体要因	+68.0億円
MAC	+28.0億円
MKK USA INC.	+53.5億円
MOST	+18.3億円
MMX	+5.5億円
SUNSCO(含Hanoi)	+48.3億円
KUMA	+12.9億円
丸ーステンレス	▲20.7億円
アルファメタル	+4.6億円
その他国内子会社	▲63.0億円
連結消去・組換仕訳	+66.7億円

営業利益	増減
単体要因	+16.7億円
MAC	+13.5億円
MKK USA INC.	+31.9億円
MOST	+10.0億円
MMX	+2.3億円
SUNSCO(含Hanoi)	+11.8億円
KUMA	+1.7億円
丸ーステンレス	+8.0億円
アルファメタル	+0.6億円
その他国内子会社	+7.1億円
連結消去・組換仕訳	▲3.2億円

経常利益	増減
単体要因	+15.4億円
MAC	+13.5億円
MKK USA INC.	+32.2億円
MOST	+10.2億円
MMX	+2.1億円
SUNSCO(含Hanoi)	+14.9億円
KUMA	+1.3億円
丸ーステンレス	+8.2億円
アルファメタル	+0.5億円
その他国内子会社利益	+6.1億円
持分法適用関連会社	+1.2億円
連結消去・組換仕訳	▲3.6億円

1. 売上高 99,551百万円

- a. 前期比 +222.4億円 +28.7%
- b. 日本は単体が+68億円、丸ステンレスは半導体製造装置向けBA管の販売は増加したが、神戸製鋼のチタン管からの撤退で▲20.7億円、アルファメタルは昨年の自動車減産からの回復で+4.6億円などで増収。
+57.3億円 +10.5%
- c. 米国3社は前年比19.7%の数量増と、材料コイル市況の大幅上昇を受けて製品価格への転嫁を進めたこと、MMXも前年のロックダウンからの回復により数量が+55.2%となり増収。
+105.3億円 +95.8%
- d. アジアはSUNSCO(HCM)の国内販売比率上昇で数量が+16.7%、Hanoiは昨年のディーラー営業停止からの回復で数量が+16.9%、KUMAは今年度のロックダウン期間が昨年より短く、数量が+41.4%で増収。
+59.6億円 +50.1%

2. 営業利益 17,299百万円

- a. 前期比 +100.4億円 +138.3%
- b. 日本は単体で+16.7億円、丸ステンレスのBA管の伸びで+8.0億円などで増益。
+28.9億円 +43.4%
- c. 北米は製品価格上昇によりプラットフォームが拡大し、大幅増益。
+57.6億円
- d. アジアはSUNSCO(HCM)の製品価格上昇、全拠点の数量増で増益。
+13.5億円 +198.8%

3. 経常利益 18,637百万円

- a. 前期比 +102.1億円 +121.0%
- b. 持分法利益の増加+1.2億円、支払利息▲0.4億円など。

4. 親会社株主に帰属する当期純利益 13,453百万円

- a. 前期比 +80.2億円 +147.6%

連結営業成績 損益計算書 8月開示(予想)との差額主要因

【単位 億円】

	2022年3月期 上期			
	8月予想	実績	差額	増減率
売上高	994.0	995.5	+1.5	+0.2%
営業利益	165.0	173.0	+8.0	+4.8%
経常利益	180.0	186.4	+6.4	+3.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	136.0	134.5	▲1.5	▲1.1%

売上高	予想	実績	影響額
丸一単体	468.8億円	475.8億円	7.0億円
MAC	58.5億円	58.9億円	0.4億円
MKK USA INC.	103.8億円	106.4億円	2.7億円
MOST	36.6億円	37.3億円	0.7億円
MMX	13.7億円	13.9億円	0.1億円
SUNSCO(Hanoiを含む)	149.2億円	150.4億円	1.2億円
KUMA	29.8億円	32.7億円	2.9億円
丸ーステンレス	117.8億円	109.9億円	▲7.9億円
アルファメタル	21.3億円	18.9億円	▲2.4億円
その他国内子会社	268.0億円	268.6億円	0.6億円
連結調整	▲273.4億円	▲277.2億円	▲3.8億円

営業利益	予想	実績	影響額
丸一単体	72.3億円	76.1億円	3.8億円
MAC	13.5億円	13.5億円	0.1億円
MKK USA INC.	30.1億円	30.6億円	0.5億円
MOST	9.6億円	9.7億円	0.1億円
MMX	2.8億円	2.9億円	0.1億円
SUNSCO(含 Hanoi)	17.1億円	17.2億円	0.1億円
KUMA	2.8億円	3.0億円	0.2億円
丸ーステンレス	11.4億円	12.3億円	0.8億円
アルファメタル	0.2億円	▲0.4億円	▲0.6億円
その他国内子会社	5.3億円	6.5億円	1.2億円
のれん	0.0億円	0.0億円	0.0億円
連結調整	▲0.1億円	1.5億円	1.6億円

経常利益	予想	実績	影響額
丸一単体	93.7億円	98.7億円	5.0億円
MAC	13.5億円	13.9億円	0.4億円
MKK USA INC.	30.3億円	30.9億円	0.6億円
MOST	9.7億円	9.7億円	0.1億円
MMX	2.9億円	3.0億円	0.1億円
SUNSCO(含 Hanoi)	19.4億円	19.6億円	0.1億円
KUMA	2.9億円	3.3億円	0.4億円
丸ーステンレス	11.5億円	12.4億円	0.9億円
アルファメタル	0.6億円	0.0億円	▲0.5億円
その他国内子会社	8.7億円	10.0億円	1.3億円
持分法適用関連会社	1.0億円	1.7億円	0.7億円
連結調整	▲14.0億円	▲16.8億円	▲2.8億円

連結営業成績 主要会社8月開示(予想)と実績との差額

【単位 億円】

2022年3月期 8月開示 上期予想					2022年3月期 上期実績							
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
					実績	差額	実績	差額	実績	差額	実績	差額
丸一鋼管	468.8	72.3	93.7	65.8	475.8	7.0	76.1	3.8	98.7	5.0	70.7	4.8
MAC	58.5	13.5	13.5	9.7	58.9	0.4	13.5	0.1	13.9	0.4	10.2	0.4
MKK USA INC.	103.8	30.1	30.3	29.2	106.4	2.7	30.6	0.5	30.9	0.6	27.5	▲1.7
MOST	36.6	9.6	9.7	9.7	37.3	0.7	9.7	0.1	9.7	0.1	9.7	0.1
MMX	13.7	2.8	2.9	2.1	13.9	0.1	2.9	0.1	3.0	0.1	2.3	0.2
SUNSCO (含Hanoi)	149.2	17.1	19.4	19.2	150.4	1.2	17.2	0.1	19.6	0.1	19.4	0.2
KUMA	29.8	2.8	2.9	2.2	32.7	2.9	3.0	0.2	3.3	0.4	2.5	0.3
丸一 ステンレス	117.8	11.4	11.5	7.6	109.9	▲7.9	12.3	0.8	12.4	0.9	8.1	0.5
アルファ メタル	21.3	0.2	0.6	0.4	18.9	▲2.4	▲0.4	▲0.6	0.0	▲0.5	0.0	▲0.3
その他 国内子会社	268.0	5.3	8.7	6.5	268.6	0.6	6.5	1.2	10.0	1.3	6.9	0.3
持分法適用 関連会社	—	—	1.0	—	—	—	—	—	1.7	0.7	—	—
のれん代	—	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0	—	—	—	—
連結調整	▲273.4	▲0.1	▲14.0	▲16.5	▲277.2	▲3.8	1.5	1.6	▲16.8	▲2.8	▲22.8	▲6.3
合計	994.0	165.0	180.0	136.0	995.5	1.5	173.0	8.0	186.4	6.4	134.5	▲1.5

1. 売上高

- a. 予想比 +1.5億円 +0.2%
- b. 日本は、単体は7億円過達したが、丸ステンレス鋼管のBA管の生産の遅れが生じたこと、アルファメタルが自動車生産減少の影響から出荷数量が未達で▲2.7億円。
- c. 北米は、円安などで+3.9億円。
- d. アジアは、KUMAの過達で+4.1億円。
- e. 決算調整▲3.8億円。

2. 営業利益

- a. 予想比 +8.0億円 +4.8%
- b. 日本は、単体で+3.8億円、他の子会社で+1.5億円の+5.3億円。
- c. 北米は、+0.8億円。
- d. アジアはKUMAの過達により+2.1億円。
- e. 決算調整+1.6億円。

3. 経常利益

- a. 予想比 +6.4億円 +3.5%
- b. 営業利益の過達と決算調整額のマイナス要因。

4. 親会社株主に帰属する当期純利益

- a. 予想比 ▲1.5億円 ▲1.1%
- b. 経常利益の過達と決算調整額のマイナス要因。

【単位:百万円】

	2021年3月期 上期				2022年3月期 上期				前年同期比			
	売上高	構成比	営業利益	構成比	売上高	構成比	営業利益	構成比	売上高	増減比	営業利益	増減比
日本	54,437	70.4%	6,662	91.8%	60,170	60.4%	9,554	55.2%	5,732	10.5%	2,892	43.4%
北米	10,991	14.2%	▲ 168	▲ 2.3%	21,523	21.6%	5,588	32.3%	10,533	95.8%	5,757	—
アジア	11,897	15.4%	677	9.3%	17,857	17.9%	2,025	11.7%	5,960	50.1%	1,348	198.8%
調整額	—	—	88	1.2%	—	—	130	0.8%	—	—	43	48.5%
合計	77,326	100.0%	7,260	100.0%	99,551	100.0%	17,299	100.0%	22,225	28.7%	10,039	138.3%

連結営業成績 貸借対照表 前期対比

【単位 億円】

	2022年3月期 上期		
	前期	当期	差額
流動資産	1,693	1,835	+142.2
（現金及び預金）	819	781	▲37.7
（受手・売掛金）	375	419	+44.4
（棚卸資産）	319	426	+106.2
（その他）	180	209	+29.3
固定資産	1,610	1,703	+93.4
（有形固定資産）	861	870	+9.4
（無形固定資産）	9	9	▲0.2
（投資その他の資産）	740	824	+84.1
資産合計	3,303	3,538	+235.5
流動負債	417	437	+20.0
（支手・買掛金）	230	263	+32.0
（短期借入金）	65	68	+2.8
（未払法人税等）	35	36	+0.6
（その他）	87	72	▲15.3
固定負債	115	126	+10.7
負債合計	533	564	+30.8
純資産	2,770	2,975	+204.7
（資本金）	96	96	+0.0
（資本剰余金）	159	159	+0.0
（利益剰余金）	2,614	2,710	+95.6
（自己株式）	▲289	▲289	+0.3
（その他有価証券評価差額）	146	218	+72.6
（為替調整勘定）	▲33	▲11	+21.8
（退職給付にかかる調整額）	▲0	2	+2.1
（新株予約権）	2	2	+0.0
（非支配株主持分）	76	88	+12.2
負債・純資産合計	3,303	3,538	+235.5

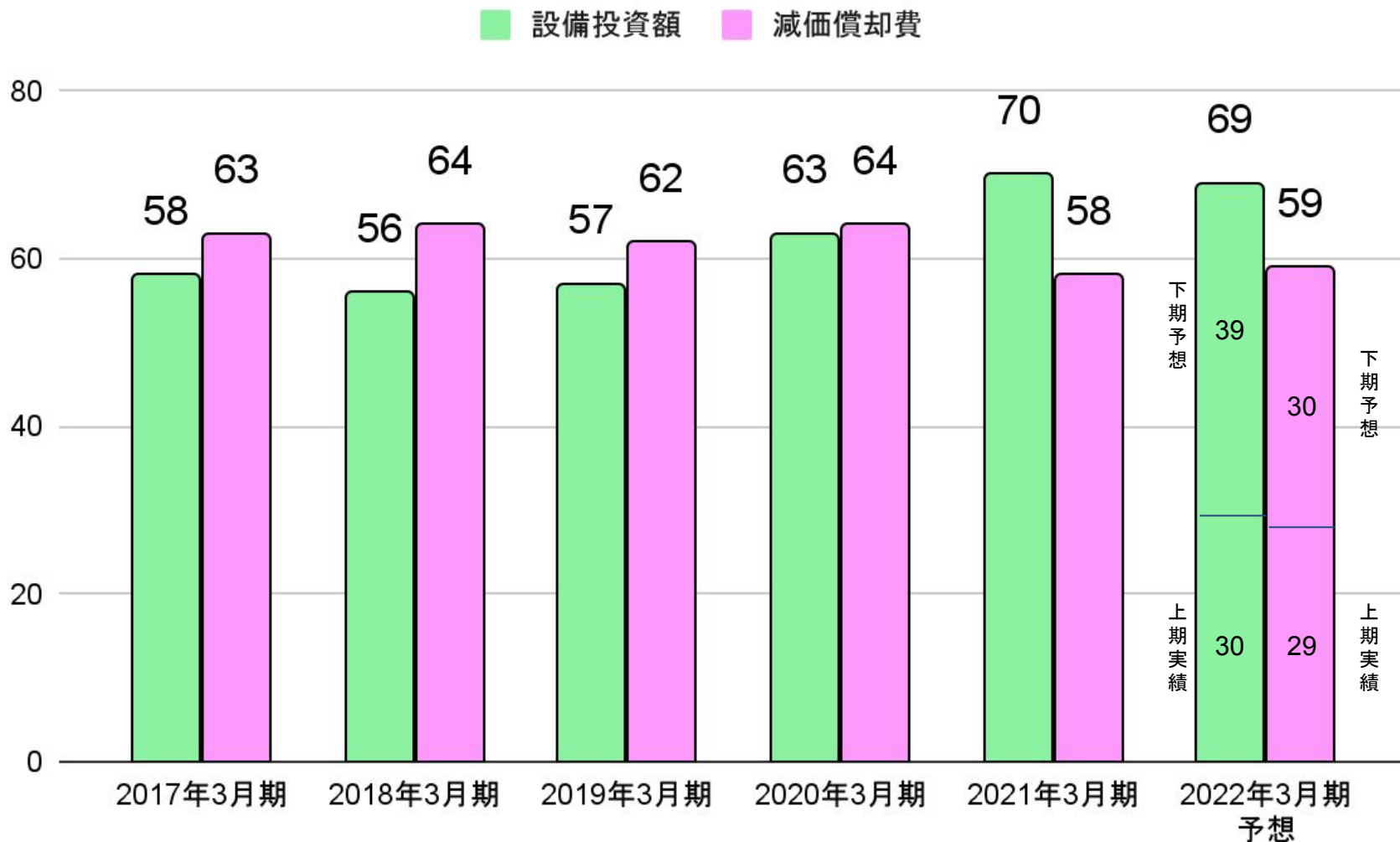
流動資産増減要因							増減
現金及び預金	国内	▲48.2億円	海外	+13.8億円	連結調整	▲3.3億円	▲37.7億円
受手・売掛金	国内	+38.6億円	海外	+29.3億円	連結調整	▲23.5億円	+44.4億円
たな卸資産	国内	+49.0億円	海外	+54.6億円	連結調整	+2.7億円	+106.2億円
その他	子会社 NCD	+1.8億円	その他	+32.7億円	連結調整	▲5.2億円	+29.3億円

固定資産増減要因							増減
有形固定資産	丸一	▲2.7億円	国内子会社	+6.5億円	MOST	+1.6億円	+9.4億円
	MAC	+0.4億円	MKK USA INC.	+1.4億円	SUNSCO	+12.0億円	
	KUMA	+0.5億円	MMX	+0.5億円	連結調整	▲10.8億円	
無形固定資産	丸一	▲0.1億円	子会社	▲0.1億円	連結調整	▲0.1億円	▲0.2億円
投資 その他の資産	国内	+35.8億円	海外	+2.8億円	連結調整	+45.5億円	+84.1億円

流動負債増減要因							増減
支手・買掛金	国内	+42.8億円	海外	+9.3億円	連結調整	▲20.0億円	+32.0億円
短期借入金	アルファメタル	+0.3億円	SUNSCO	+10.5億円	MKK USA INC.	+1.1億円	+4.9億円
	KUMA	+0.0億円	MMX	+0.0億円	ステンレス	▲7.0億円	
未払法人税等	丸一	▲4.8億円	子会社	+5.3億円	連結調整	+0.0億円	+0.6億円
その他	丸一	▲2.7億円	子会社	▲4.5億円	連結調整	▲8.2億円	▲15.3億円

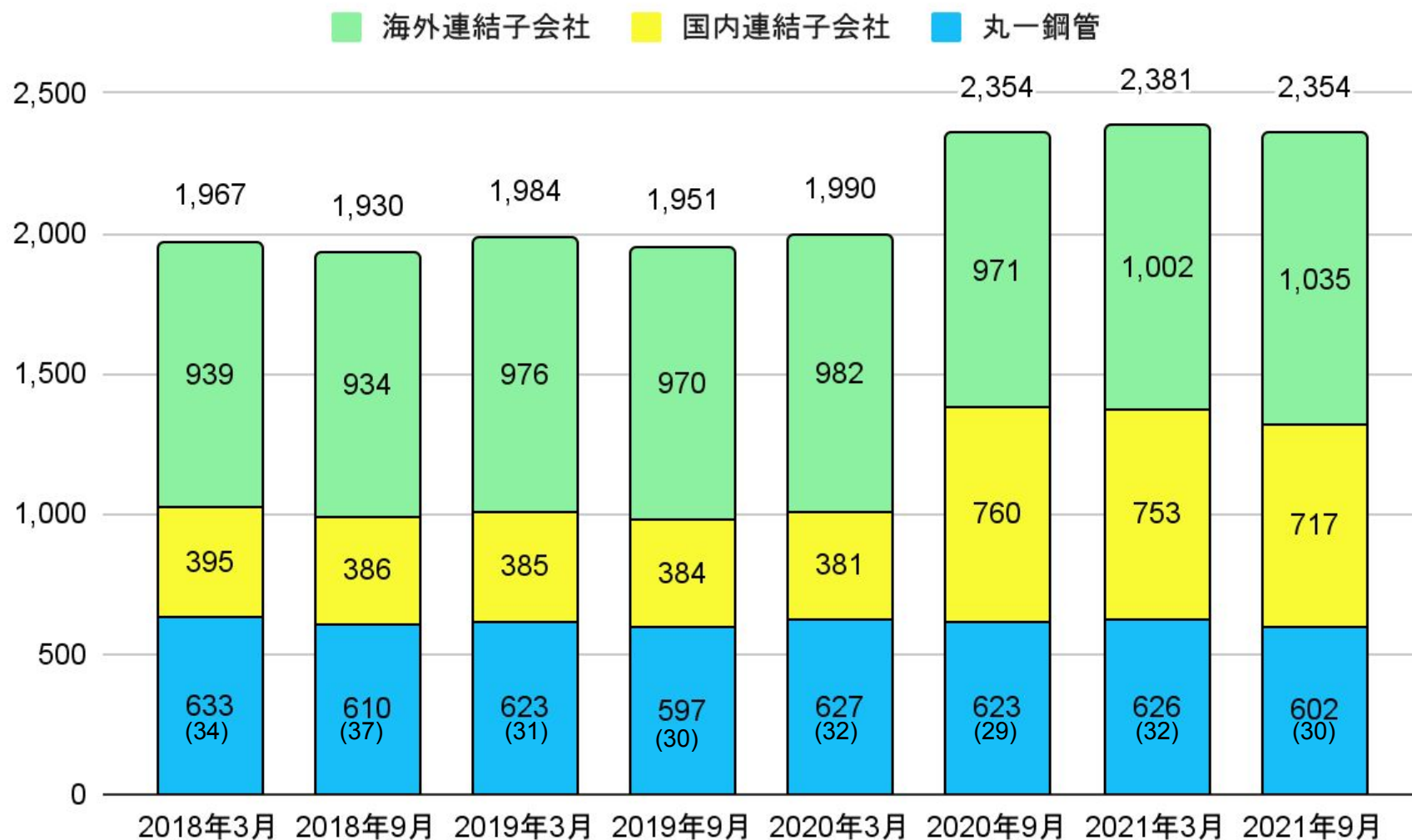
固定負債増減要因							増減
固定負債	丸一	+14.9億円	国内子会社	+0.8億円	連結調整	▲9.7億円	+10.7億円
	SUNSCO	+3.3億円	KUMA	+1.4億円	MKK USA INC.	+0.0億円	
	MMX	+0.0億円	MAC	+0.0億円	MOST	+0.0億円	

純資産増減要因							増減
利益剰余金	国内	+37.5億円	海外	+63.9億円	連結調整	▲5.8億円	+95.6億円
その他有価証券 評価差額金	丸一	+33.5億円	子会社	+0.0億円	連結調整	+39.1億円	+72.6億円
為替調整勘定	20/12末	103.50円 /US\$	→	21/6末	110.58円 /US\$		+21.8億円
非支配株主持分	MKK USA INC.			+3.4億円	連結調整	+8.8億円	+12.2億円
その他					連結調整	+2.1億円	+2.1億円



従業員数の推移

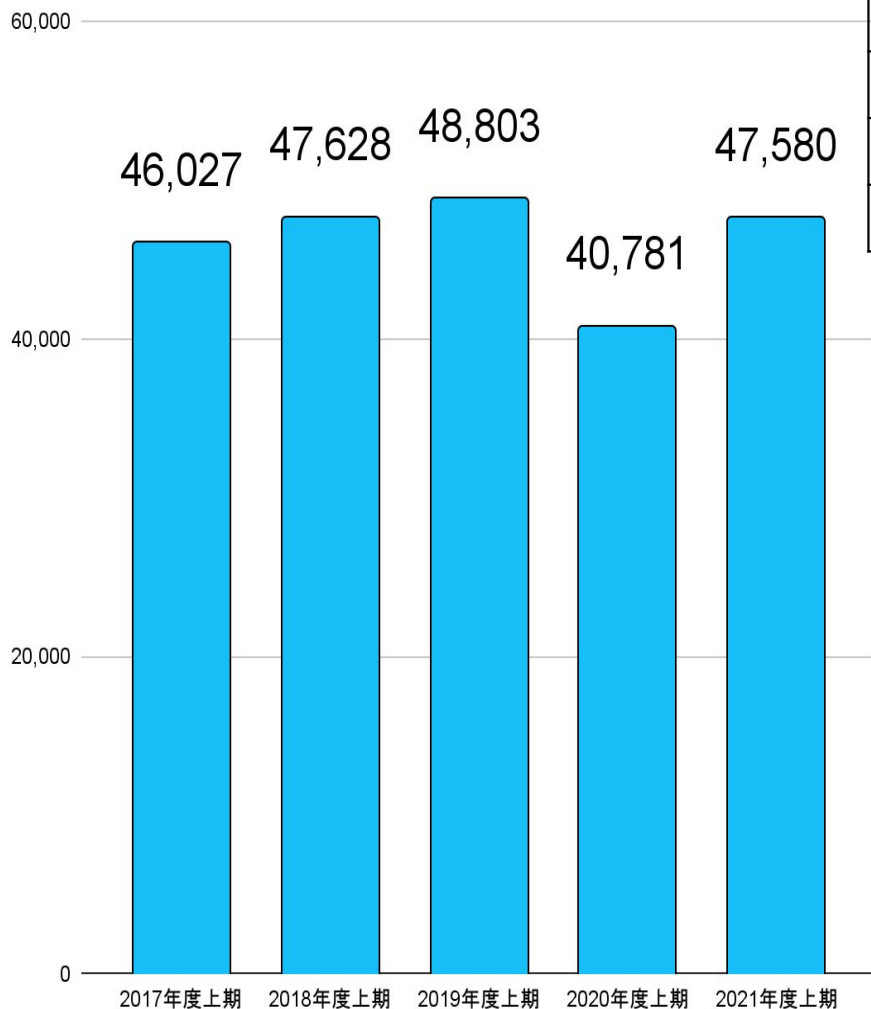
()内は海外出向者



Ⅱ. 2022年3月期 上期 単体決算概要

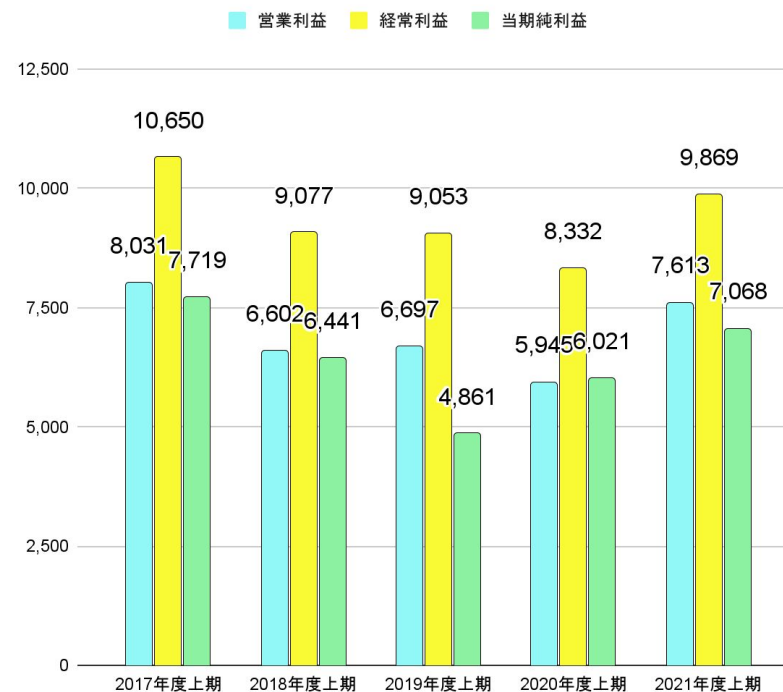
【単位 百万円】

売上高(百万円)



	2021年3月期 上期実績	2022年3月期 上期実績	増減率	8月発表 上期予想	増減率
売上高	40,781	47,580	+16.7%	46,881	+1.5%
営業利益	5,945	7,613	+28.0%	7,229	+5.3%
経常利益	8,332	9,869	+18.4%	9,365	+5.4%
当期純利益	6,021	7,068	+17.4%	6,584	+7.4%

利益の状況 (百万円)



単体経営成績 損益計算書

	2018年3月期 上期		2019年3月期 上期		2020年3月期 上期		2021年3月期 上期		2022年3月期 上期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	46,027	100.0%	47,628	100.0%	48,803	100.0%	40,781	100.0%	47,580	100.0%
売上原価	34,853	75.7%	37,833	79.4%	38,574	79.0%	31,676	77.7%	36,725	77.2%
売上総利益	11,174	24.3%	9,794	20.6%	10,228	21.0%	9,105	22.3%	10,855	22.8%
販売費及び一般管理費	3,142	6.8%	3,191	6.7%	3,530	7.2%	3,159	7.7%	3,242	6.8%
営業利益	8,031	17.4%	6,602	13.9%	6,697	13.7%	5,945	14.6%	7,613	16.0%
営業外収益	2,858	6.2%	2,686	5.6%	2,560	5.2%	2,640	6.5%	2,505	5.3%
営業外費用	239	0.5%	211	0.4%	205	0.4%	254	0.6%	248	0.5%
経常利益	10,650	23.1%	9,077	19.1%	9,053	18.6%	8,332	20.4%	9,869	20.7%
特別利益	222	0.5%	1	0.0%	205	0.4%	69	0.2%	45	0.1%
特別損失	13	0.0%	36	0.1%	2,074	4.3%	23	0.1%	9	0.0%
税引前当期純利益	10,859	23.6%	9,042	19.0%	7,184	14.7%	8,378	20.5%	9,905	20.8%
法人税等	3,140	6.8%	2,601	5.5%	2,323	4.8%	2,357	5.8%	2,837	6.0%
法人税等調整額	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
当期純利益	7,719	16.8%	6,441	13.5%	4,861	10.0%	6,021	14.8%	7,068	14.9%

単体経営成績 損益計算書 前期実績との差額要因

【単位 億円】

	2022年3月期 上期			
	前期	今期	増減	増減率
売上高	407.8	475.8	+68.0	+16.7%
営業利益	59.5	76.1	+16.7	+28.0%
(受取配当金・債券利息等)	19.6	18.0	▲1.6	
(家賃収入)	4.2	4.3	+0.1	
(ロイヤリティ収入)	1.7	2.1	+0.4	
(その他営業外収益)	0.9	0.6	▲0.3	
(賃貸費用)	2.0	2.1	+0.1	
(その他営業外費用)	0.5	0.4	▲0.1	
経常利益	83.3	98.7	+15.4	+18.4%
(投資有価証券売却益)	0.7	0.4	▲0.3	
(固定資産売却益)	0.0	0.0	+0.0	
(その他特別利益)	0.0	0.0	+0.0	
(投資有価証券売却損)	0.1	0.0	▲0.1	
(投資有価証券評価損)	0.0	0.0	+0.0	
(固定資産除去費・撤去費)	0.2	0.1	▲0.1	
(その他特別損失)	0.0	0.0	+0.0	
税引前当期純利益	83.8	99.1	+15.3	+18.2%
(法人税等)	23.6	28.4	+4.8	
(法人税等調整額)	0.0	0.0	+0.0	
当期純利益	60.2	70.7	+10.5	+17.4%

売上高	増減
国内パイプ販売数量	17.9億円
国内パイプ販売単価	50.0億円
輸出パイプ販売数量	1.9億円
輸出パイプ販売単価	0.7億円
帯鋼販売数量	▲1.1億円
帯鋼販売単価	3.9億円
特品事業部	1.8億円
関連帯鋼	▲11.3億円
機械その他	4.1億円

営業利益	増減
総販売数量	3.3億円
総販売単価	47.1億円
(内国内パイプ単価要因)	(50.0億円)
売上原価	34.4億円
販売費及び一般管理費	▲0.6億円

経常利益	増減
営業利益より	16.7億円
受取配当金・有価証券利息等	▲1.6億円
その他営業外収益	0.2億円
営業外費用	▲0.1億円

税金等調整前四半期純利益	増減
経常利益より	15.4億円
投資有価証券売却益	▲0.3億円
固定資産売却益	0.0億円
投資有価証券売却損	▲0.1億円
投資有価証券評価損	0.0億円
固定資産除去費・撤去費	▲0.1億円
その他項目	0.0億円

当期純利益	増減
税引前当期純利益より	15.3億円
法人税等	4.8億円
法人税等調整額	0.0億円

1. 売上高 47,580百万円

- a. 前期比 +68.0億円 +16.7%
- b. 総販売数量 360千トン
前期比 +15.8千トン +4.6%
- c. 数量増による増収 +20.9億円
- d. 販売数量は第1Qの前年比+10.7%から第2Qは▲1.1%にダウン。
コイル不足が主因。第1Qの回復は自動車向け。
- e. 単価上昇による増収 +47.1億円
- f. 総販売単価は11.5%アップ。
国内鋼管単価は15.1%アップ。

1. 営業利益 7,613百万円

- a. 前期比 +16.7億円 +28.0%
- b. 国内、輸入コイル価格は共に大幅上昇したが、価格転嫁に注力しスプレッド維持。
- c. 数量増、昨年度の在庫減損なども増益要因。

3. 経常利益 9,869百万円

- a. 前期比 +15.4億円 +18.4%
- b. 配当金の内訳は、国内事業会社等+0.4億円、海外事業会社及び関連会社▲2.1億円
- c. 北米4社の数量増によりロイヤリティ+0.4億円

4. 特別利益

- a. 投資有価証券売却益▲0.3億円

5. 特別損失

- a. 固定資産除去損等(前期)+0.1億円

3. 当期純利益 7,068百万円

- a. 前期比 +10.5億円 +17.4%
- b. 法人税等 +4.8億円

単体営業成績 損益計算書8月開示予想との差額主要因

【単位 億円】

	2022年3月期 上期			
	8月開示 上期予想	実績	差額	増減率
売上高	468.8	475.8	+7.0	+1.5%
営業利益	72.3	76.1	+3.8	+5.3%
経常利益	93.6	98.7	+5.0	+5.4%
税引前当期純利益	93.3	99.1	+5.7	+6.1%
当期純利益	65.8	70.7	+4.8	+7.4%

売上高	増減
国内パイプ販売数量	+0.4億円
国内パイプ販売単価	+4.2億円
輸出パイプ販売数量	▲0.3億円
輸出パイプ販売単価	▲0.0億円
帯鋼販売数量	▲1.2億円
帯鋼販売単価	▲0.8億円
特品事業部	+1.9億円
関連帯鋼	+0.0億円
機械その他	+2.8億円

営業利益	増減
全体販売数量要因	▲0.1億円
全体販売単価要因	+7.9億円
売上原価	+4.8億円
販管費	▲0.8億円

経常利益	増減
営業利益より	+3.8億円
受取配当金・有価証券利息等	+1.1億円
その他営業外収益	▲0.0億円
営業外費用	▲0.1億円

税引前当期純利益	増減
経常利益より	+5.0億円
投資有価証券売却益	+0.4億円
固定資産売却益	+0.0億円
投資有価証券売却損	+0.0億円
投資有価証券評価損	+0.0億円
固定資産除去損・撤去費	▲0.2億円
その他項目	+0.0億円

当期純利益	増減
税引前利益より	+5.7億円
法人税等	+0.9億円
法人税等調整額	+0.0億円

1. 売上高

a. 予想比	+7.0億円	+1.5%
b. 総販売数量	▲0.7千トン	▲0.2%
c. 数量要因	▲0.9億円	
d. 総販売単価	+1.7%過達	
e. 単価要因	+7.9億円	
f. 国内パイプ	+4.6億円	
g. 特品事業部	+1.9億円	
h. 帯鋼販売	▲2.0億円	
i. 機械売り他	+2.5億円	

2. 営業利益

a. 予想比	+3.8億円	+5.3%
b. 国内鋼管の価格転嫁が予想より進捗。		
c. 売上原価及び販管費はほぼ予想通りで過達。		

3. 経常利益

a. 予想比	+5.0億円	+5.4%
b. 受取配当金・利息	+1.1億円	
c. ロイヤリティ	+0.1億円	

4. 当期純利益

a. 予想比	+4.8億円	+7.4%
b. 投資有価証券売却益	+0.4億円	
c. 固定資産除去損	▲0.3億円	
d. 法人税等	+0.9億円	

単体営業成績 貸借対照表 前期対比

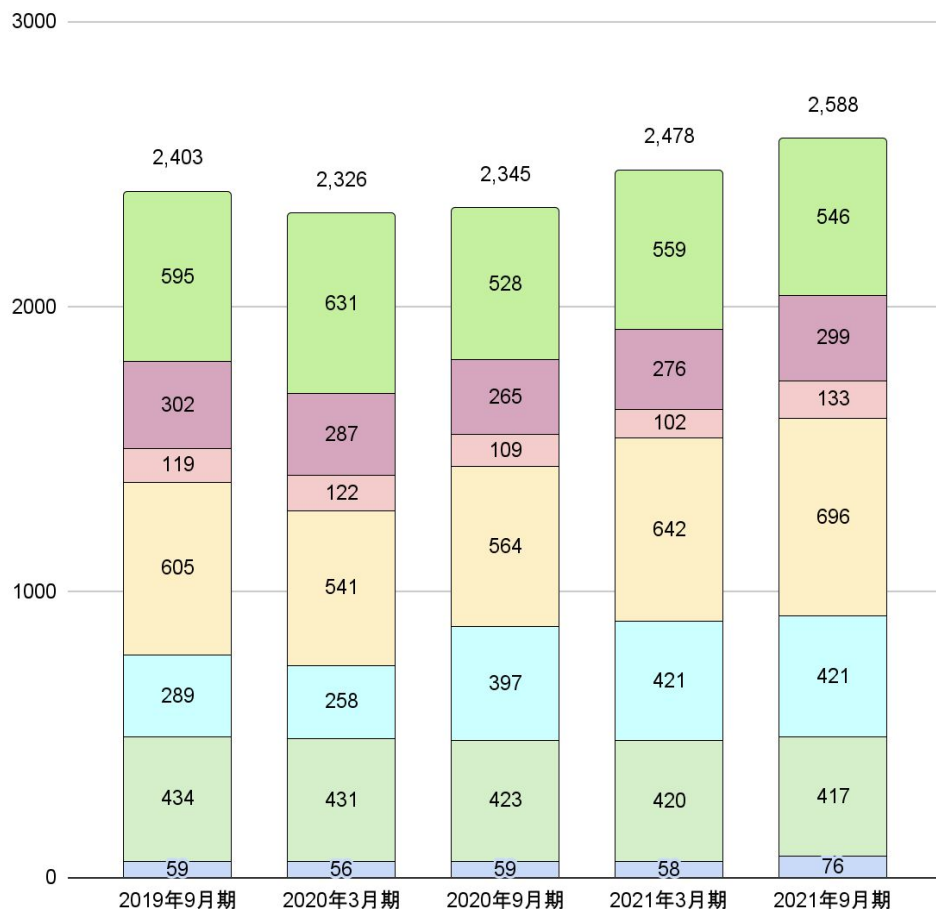
【単位 億円】 流動資産

	2022年3月期 上期														
	前期末	今期	差額												
流動資産	998.5	1,075.5	+77.0	現金及び預金	▲13.3億円			税引前利益	+99.1億円	減価償却	+11.8億円	設備投資	▲9.1億円	運転資金	▲29.4億円
(現金及び預金)	559.3	546.0	▲13.3	配当・納税	▲71.2億円			関係会社株式	+0.0億円	上場株式	+0.0億円	債券	+3.9億円	投資信託	▲10.2億円
(受手・売掛金)	276.0	298.8	+22.8	売上債権	+22.8億円			貸付金	+0.0億円	自己株式	▲0.0億円	その他	▲8.2億円		
(棚卸資産)	101.7	132.7	+31.0	受取手形・電債	+0.5億円	売掛金	+22.3億円								
(その他)	61.5	98.0	+36.4	たな卸資産	+31.0億円										
固定資産	1,479.1	1,512.2	+33.1	製品	+3.2億円	原材料	+26.9億円	貯蔵品他	+0.9億円						
(有形固定資産)	419.8	417.1	▲2.7	その他	+36.4億円										
(無形固定資産)	3.6	3.6	▲0.1	短期債券	+16.0億円	その他	+20.4億円								
(投資その他の資産)	1,055.6	1,091.5	+35.9	固定資産											
資産合計	2,477.6	2,587.7	+110.2	有形・無形固定資産	▲2.8億円										
流動負債	211.8	241.4	+29.6	新規投資	+9.0億円	減価償却	▲11.8億円								
(支手・買掛金)	141.7	178.8	+37.1	投資その他の資産	+35.9億円										
(未払法人税等)	32.2	27.5	▲4.8	有価証券評価差額金	+47.8億円	株式関係	+0.0億円	債券関係	▲19.9億円						
(その他)	37.8	35.1	▲2.7	関係会社株式	+0.0億円	投信関係	+10.2億円	その他	▲2.2億円						
固定負債	65.5	80.4	+14.9	流動負債											
負債合計	277.3	321.8	+44.5	支手・買掛金	+37.1億円										
純資産	2,200.3	2,265.9	+65.6	支手電債	▲0.2億円	買掛金	+37.2億円								
(資本金)	96.0	96.0	+0.0	その他	▲2.7億円										
(資本剰余金)	147.3	147.4	+0.0	設備未払・設備支手	▲0.5億円			その他	▲2.2億円						
(利益剰余金)	2,106.7	2,138.4	+31.7	固定負債											
(自己株式)	▲289.2	▲288.9	+0.3	固定負債	+14.9億円										
(その他有価証券評価差額)	137.9	171.4	+33.5	退職給付引当金	+0.3億円	繰延税金固定負債	+14.3億円	その他	+0.3億円						
(新株予約権)	1.6	1.6	+0.0	純資産											
負債・純資産合計	2,477.6	2,587.7	+110.2	利益剰余金	+31.7億円										
				当期純利益	+70.7億円	配当金	▲38.9億円	中間配当金	+0.0億円						
				その他有価証券評価差額金	+33.5億円										
				債券・投信	+0.6億円	上場株式	+8.6億円	海外子会社株式	+24.4億円						

【単位：億円】

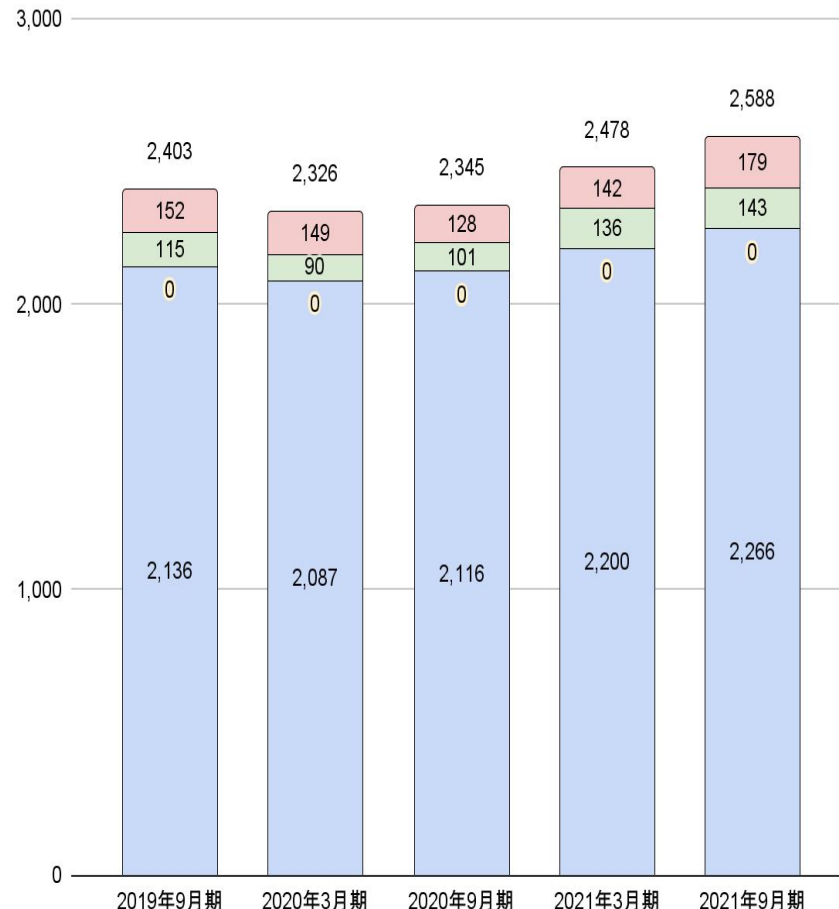
資産

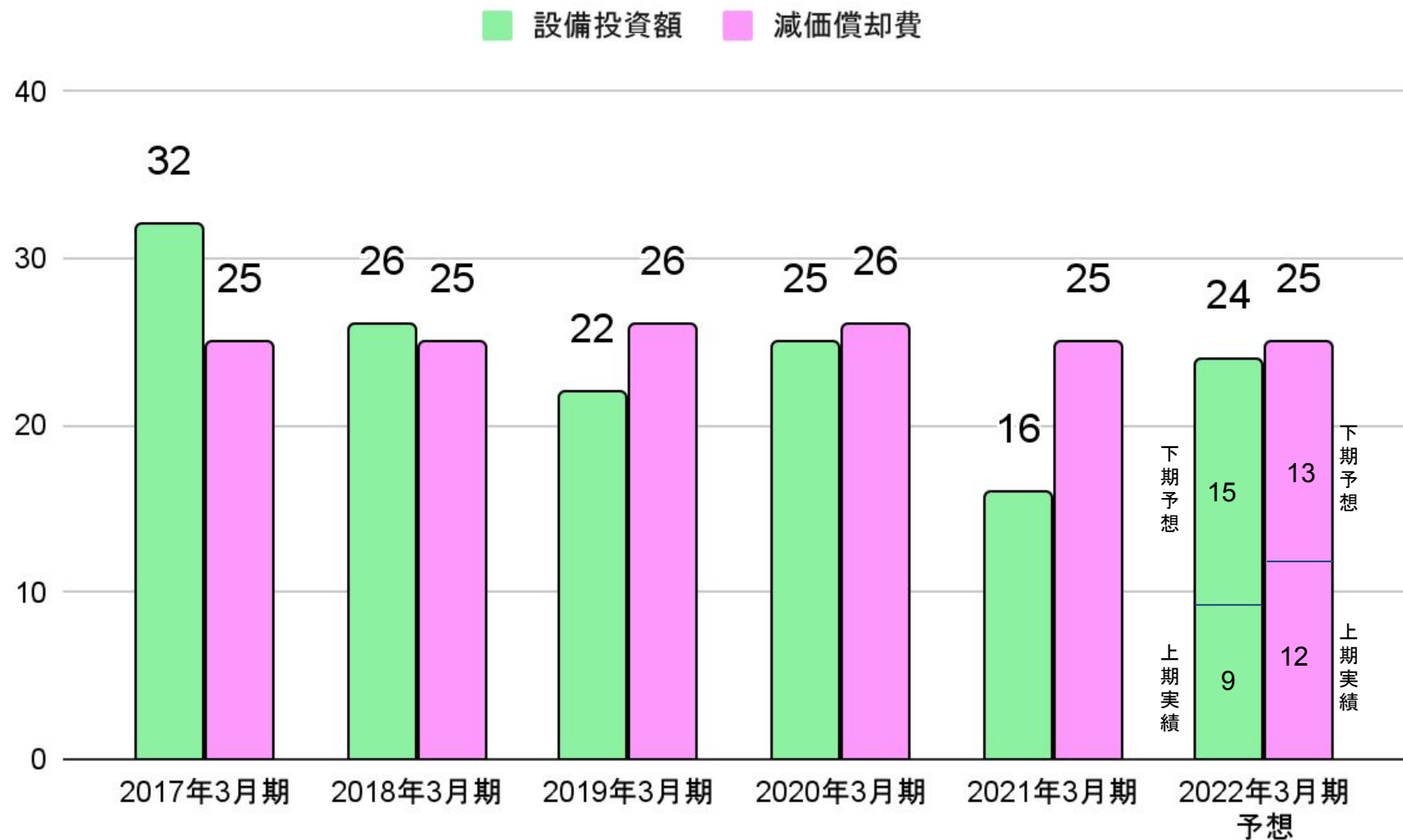
■ 現預金 ■ 売上債権 ■ 棚卸資産 ■ 投資有価証券 ■ 関係会社株式
■ 有形固定資産 ■ その他資産



負債及び純資産

■ 買入債務 ■ その他負債 ■ 借入金 ■ 純資産



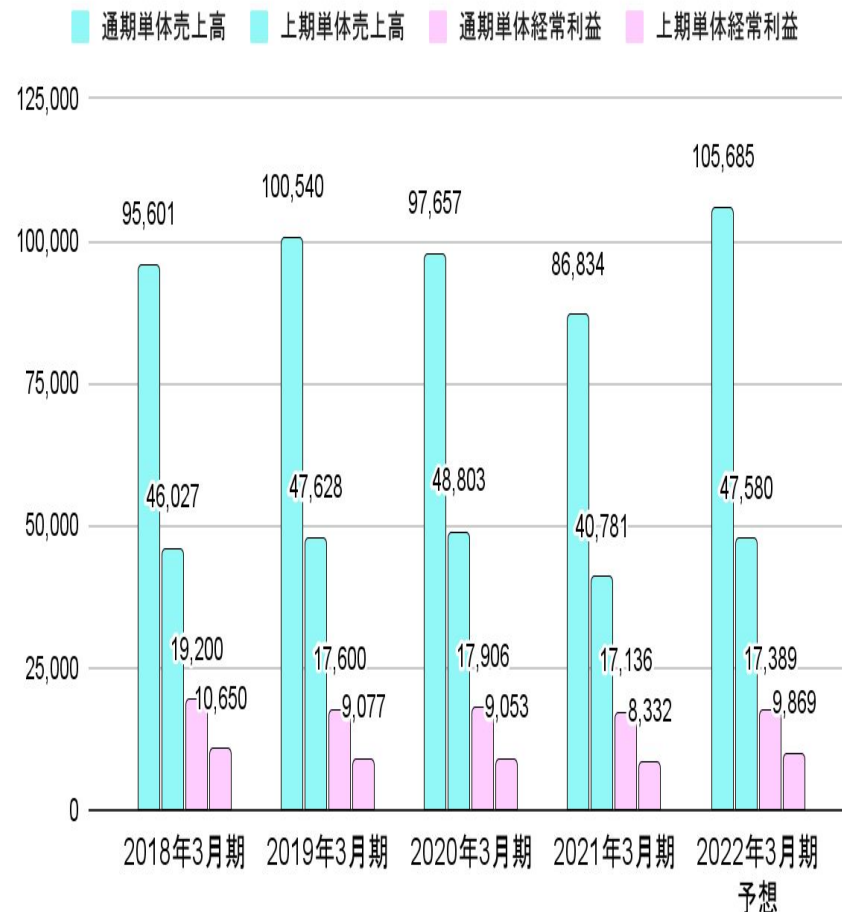
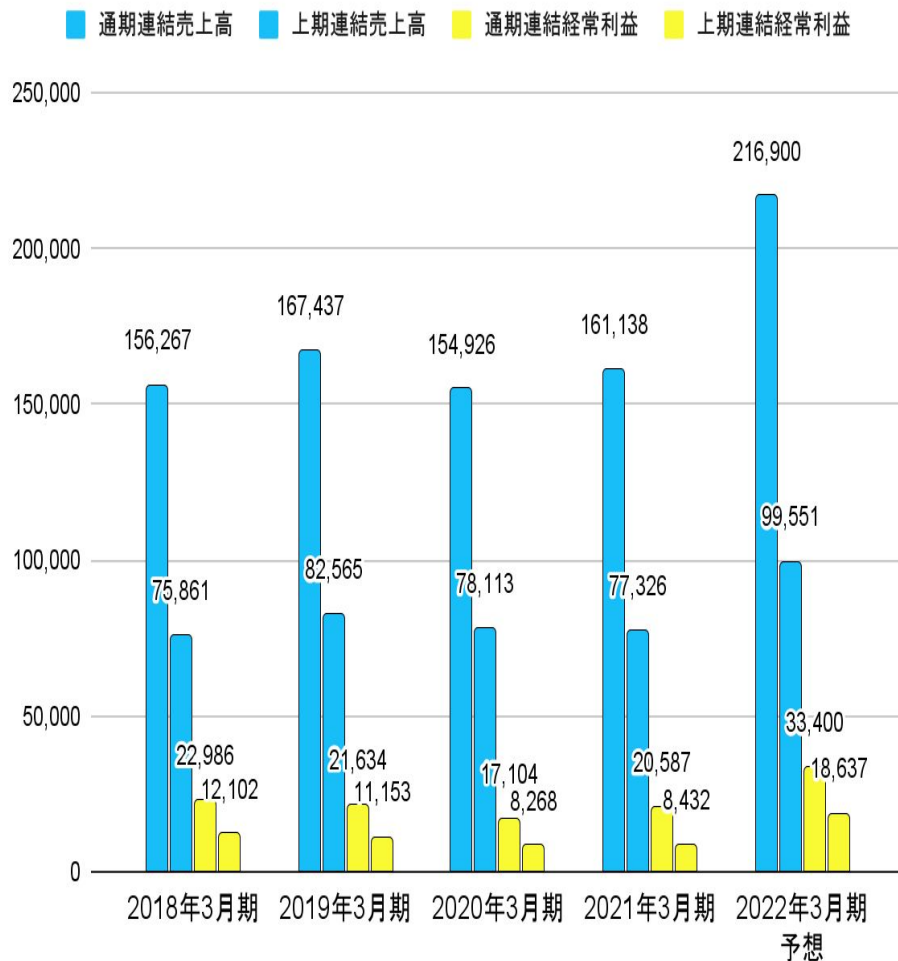


Ⅲ. 2022年3月期通期 業績予想

連結

単体

【単位：百万円】



【単位 百万円】

	2021年3月期 実績				2022年3月期 予想				前期比			
	売上高	比率	営業利益	比率	売上高	比率	営業利益	構成比	売上高	増減比	営業利益	増減比
日本	111,477	69.2%	15,541	84.8%	131,752	60.7%	17,892	56.6%	21,086	18.9%	2,694	17.3%
北米	23,497	14.6%	99	0.5%	47,451	21.9%	10,608	33.6%	23,739	101.0%	10,372	10,376.3%
アジア	26,162	16.2%	2,452	13.4%	37,697	17.4%	3,147	10.0%	10,937	41.8%	709	28.9%
調整額	—	—	239	1.3%	—	—	▲ 47	▲ 0.1%	—	—	▲ 507	▲ 212.2%
合計	161,138	100.0%	18,332	100.0%	216,900	100.0%	31,600	100.0%	55,762	34.6%	13,267	72.4%

連結決算予想	2022年3月期予想				2021年3月期 実績	通期予想 前年実績比	通期予想 8月予想比
	上期実績	下期予想	通期予想	売上利益 率			
売上高	99,551	117,349	216,900	—	161,138	34.6%	2.8%
営業利益	17,299	14,301	31,600	14.6%	18,333	72.4%	7.8%
経常利益	18,638	14,762	33,400	15.4%	20,588	62.2%	6.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	13,454	10,346	23,800	11.0%	13,857	71.7%	1.3%

【単位 百万円】

単体決算予想	2022年3月期予想				2021年3月期 実績	通期予想 前年実績比	通期予想 8月予想比
	上期実績	下期予想	通期予想	売上利益 率			
売上高	47,581	58,104	105,685	—	86,835	21.7%	4.2%
営業利益	7,613	6,637	14,250	13.5%	13,756	3.6%	0.4%
経常利益	9,869	7,520	17,389	16.5%	17,136	1.5%	1.0%
当期純利益	7,068	5,199	12,267	11.6%	12,435	▲1.4%	2.1%

連結主要会社別予想 2022年3月期

【単位 億円】

	2022年3月期 上期実績							
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	
丸一鋼管	475.8	68.0	76.1	16.7	98.7	15.4	70.7	10.5
M A C	58.9	28.0	13.5	13.5	13.9	13.5	10.2	9.8
MKK USA INC.	106.4	53.5	30.6	31.9	30.9	32.2	27.5	28.7
M O S T	37.3	18.3	9.7	10.0	9.7	10.2	9.7	10.2
M M X	13.9	5.5	2.9	2.3	3.0	2.1	2.3	2.0
SUNSCO (含 Hanoi)	150.4	48.3	17.2	11.8	19.6	14.9	19.4	14.9
K U M A	32.7	12.9	3.0	1.7	3.3	1.3	2.5	0.9
丸一ステンレス	109.9	▲20.7	12.3	8.0	12.4	8.2	8.1	5.5
アルファメタル	18.9	4.6	▲0.4	0.6	0.0	0.5	0.0	0.5
その他国内子会社	268.6	▲63.0	6.5	7.1	10.0	6.1	6.9	4.0
持分法損益	—	—	—	—	1.7	1.2	1.7	1.2
のれん代	—	—	0.0	0.1	—	—	—	—
連結調整	▲277.2	66.7	1.5	▲3.3	▲16.8	▲3.6	▲24.5	▲8.0
合計	995.5	222.2	173.0	100.4	186.4	102.1	134.5	80.2

	2022年3月期 通期予想							
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	
	1,056.9	188.5	142.5	4.9	173.9	2.5	122.7	▲1.7
	140.7	79.7	26.0	25.1	26.4	25.0	19.2	18.3
	216.3	103.6	57.4	58.8	58.6	60.1	54.4	56.0
	86.2	44.1	16.4	16.2	16.4	16.2	16.4	19.7
	31.4	9.9	6.3	3.6	4.5	1.6	3.3	1.5
	312.5	102.7	25.4	7.4	27.1	8.1	26.8	8.1
	64.5	6.7	6.0	▲0.3	6.4	▲0.9	4.8	▲0.6
	238.1	11.1	24.0	13.9	24.1	14.0	15.8	10.1
	39.2	0.3	▲0.3	0.4	0.5	0.2	0.4	0.1
	584.6	▲113.0	12.7	7.7	16.6	6.7	11.3	4.1
	—	—	—	—	3.3	▲0.6	3.3	▲0.6
	—	—	0.0	0.1	—	—	—	—
	▲601.2	124.0	▲0.5	▲5.2	▲23.8	▲4.8	▲40.3	▲15.7
	2,169.0	557.6	316.0	132.7	334.0	128.1	238.0	99.4

連結営業成績 主要会社8月開示予想と11月開示予想との差額

【単位 億円】

2022年3月期 8月開示通期予想					2022年3月期 11月開示通期予想							
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
					予想	差額	予想	差額	予想	差額	予想	差額
丸一鋼管	1,013.9	141.9	172.1	120.1	1,056.9	43.0	142.5	0.6	173.9	1.8	122.7	2.6
MAC	129.3	20.8	20.9	15.0	140.7	11.4	26.0	5.2	26.4	5.6	19.2	4.2
MKK USA INC.	202.0	44.7	45.3	44.2	216.3	14.3	57.4	12.8	58.6	13.3	54.4	10.2
MOST	81.2	12.7	12.8	12.8	86.2	5.0	16.4	3.7	16.4	3.7	16.4	3.7
MMX	28.4	3.7	3.8	2.7	31.4	3.0	6.3	2.6	4.5	0.7	3.3	0.6
SUNSCO (含Hanoi)	323.3	29.6	34.1	33.7	312.5	▲10.8	25.4	▲4.1	27.1	▲7.0	26.8	▲6.9
KUMA	61.1	5.8	5.9	4.5	64.5	3.3	6.0	0.2	6.4	0.5	4.8	0.3
丸一 ステンレス	245.9	24.8	24.8	16.6	238.1	▲7.8	24.0	▲0.8	24.1	▲0.7	15.8	▲0.9
アルファ メタル	41.1	0.8	1.3	0.9	39.2	▲1.9	▲0.3	▲1.0	0.5	▲0.8	0.4	▲0.6
その他 国内子会社	576.8	8.1	12.0	8.7	584.6	7.8	12.7	4.6	16.6	4.6	11.3	2.6
持分法適用 関連会社	—	—	2.3	2.3	—	—	—	—	3.3	1.0	3.3	1.0
のれん代	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	—	—
連結調整	▲592.9	0.2	▲20.2	▲26.4	▲601.2	▲8.3	▲0.5	▲0.6	▲23.8	▲3.6	▲40.3	▲13.8
合計	2,110.0	293.0	315.0	235.0	2,169.0	59.0	316.0	23.0	334.0	19.0	238.0	3.0

配当方針(2021年5月12日開催の取締役会において2022年3月期からの配当方針を一部変更)

- ・個別損益計算書におけるみなし当期利益(※)の **50%**相当を年間配当とする
- ・但し、安定配当として一株あたり最低年間配当額は50円→ **80円**とする

※みなし当期利益: 経常利益 × (1 - 実効税率)

上記計算に基づく1株あたりの配当金74円のところ、最低年間配当額は80円のため、**2022年度3月期予想 1株あたりの配当金は80円**となります。

(参考) 配当の実施状況

(単位: 百万円 ※()内は1株あたり配当、単位: 円)

				自社株買 株数/金額	当期純利益 (単体)	配当性向 (単体)	総還元率 (単体)	ROE (連結)
	中間配当額	期末配当額	年間配当額					
2019年3月期	(25.00) 2,071	(49.00) 4,059	(74.00) 6,130		12,074	50.7%	50.8%	5.5%
2020年3月期	(40.00) 3,314	(65.50) 5,426	(105.50) 8,740		6,745	129.4%	129.6%	2.4%
2021年3月期	(25.00) 2,071	(47.50) 3,894	(72.50) 5,966	877千株/1,974百万円	12,435	48.1%	63.9%	5.3%
2022年3月期予想	(40.00) 3,280	(40.00) 3,280	(80.00) 6,560		12,267	53.4%	53.5%	8.4%

- ・2020年3月期・・・1株あたりの配当金には記念配当30円が含まれています
- ・2021年3月期・・・2020年12月に877千株を自己株取得

IV. トピックス

2021年11月1日に米国子会社(MKK USA INC.)を通じて、
米国中西部のネブラスカ州GENEVAにあるGeneva Structural Tubes,LLC(GENEVA社)
の持分を100%取得し、連結子会社といたしました



**Geneva Structural Tubes,LLC
(GENEVA社)**



米国連結子会社 拠点図

代表者	本田 俊作 (Leavitt社 社長兼務)
事業内容	鋼管の製造・販売
土地・建屋	50,992㎡、8,342㎡
設備	造管ライン × 1ライン
従業員	19名

	2020年
販売量(千st)	28.9
売上高(\$m)	22.2
営業利益(\$m)	1.9

ベトナムSUNSCO社

- 第2冷延ミル
6月稼働



第2冷延ミル



第2冷延ミル ロール組み替え装置

丸販 岡山営業所

- 倉庫棟増設、コラム切断開先機設置
事務所を新設



増設倉庫棟および新事務所棟 外観

丸販 四国営業所

- 倉庫新設、コラム切断開先機設置



コラム切断開先機

ESGレポート(2021年度版)更新、ESGレポート英語版(2021年度)発行しました

Environment 環境

● CDP※による情報開示



※英国の慈善団体が管理する非政府組織(NGO)
2000年設立し、環境への影響を透明化することを目的としてグローバルな情報開示システムを運用している

● 社用車のPHV化によるCO₂排出量削減 堺工場内に電気自動車用充電ステーション設置 名古屋工場・東京工場も順次設置予定



電気自動車用充電ステーション
(堺工場敷地内)

13 気候変動に
具体的な対策を



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



Social 社会

● 独立行政法人日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」に投資

● 丸一鋼管とSUNSCO社によるベトナムにおけるワクチン基金への寄付

● 香川県三豊市「宝山湖ボールパーク夢いっぱいプロジェクト」へ寄付

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



●ペーパーレス化・データ化による業務効率化

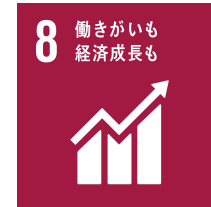
- ・電子情報共有ソフト導入による紙媒体を電子化することにより、社内情報を一元管理およびデータ活用を推進
- ・納品書・請求書・検査証明書等の帳票を電子配送システム化することで、これまで以上に顧客への送付をよりスピーディーに対応

●製造の見える化・製造帳票の自動出力

- ・設備稼働情報を自動収集し、生産計画システムと連携
- ・製造現場の操業状況をタブレットで表示、入力することでリアルタイムに状況把握
- ・稼働率向上に向けた分析データの収集
- ・製造に関わる帳票類の自動出力システム構築

●人事給与、勤怠管理、経費申請システムの更新や帳票の電子化

- ・多種多様な人材を管理出来るプラットフォームを導入
- ・労務管理の徹底した自動化や複雑化する勤怠管理に対応する充実した機能を構築中。また社内申請のペーパーレス化を目指し、各種申請のweb化を推進



●ワクチン接種率 国内の丸一鋼管グループ従業員対象

9月末時点(2回接種済)	10月末時点(2回接種済)
60.6%	84.2%



●ベトナムSUNSCO社の状況

コロナ感染抑制のため、政府が生産継続条件として「工場隔離(労・食・住)」を導入

- ・2021年7月18日から「労・食・住」を工場内に集約し操業を継続
- ・搬出入以外の来場者を原則禁止し、受け渡しは正門前に限定



居住スペース

政府から「工場隔離」の義務化を廃止し、**3グリーン**※への移行を発表

※会社、自宅、通勤ルートがグリーン(感染リスクが低いエリアを政府が指定)

の場合、政府の許諾を得たうえで、自宅からの通勤が可能

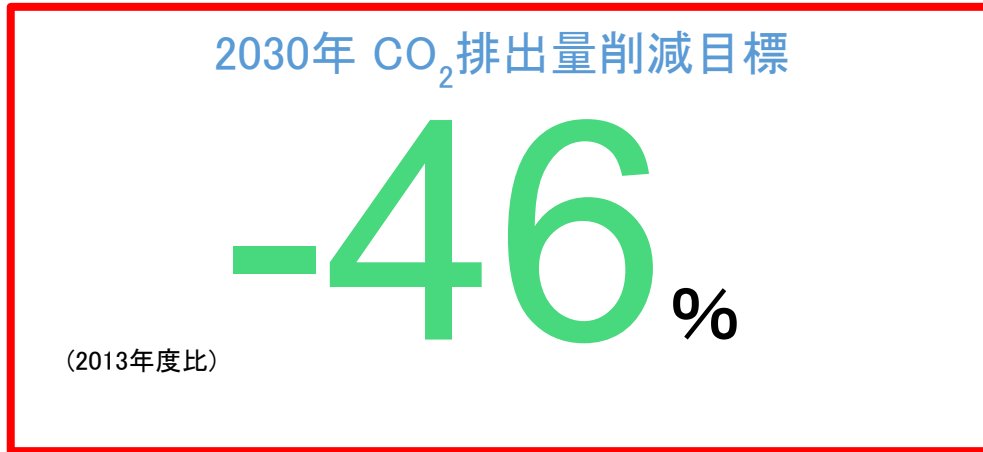
- ・工場内全従業員の2回目のワクチン接種完了
- ・2021年10月24日から従業員を順次帰宅させ通常稼働



食堂

(アクリル板の間仕切り設置)

国内丸一グループのCO₂排出量削減の推進



海外グループ会社の削減活動についても積極的に推進

2020年度の国内丸一グループのCO₂排出量(スコープ1及びスコープ2)は、2013年度比で約19%削減致しました。

今後は、直接排出であるスコープ1相当分のCO₂排出量の削減に向けて、省エネ機器への更新、自家使用太陽光発電導入、メタネーションなどの脱炭素エネルギーの活用、再生可能エネルギー購入などに取り組んで参ります。

スコープ2については、政府発表のエネルギーミックスにおいて電力会社での排出係数削減等の対応次第と考えております。

2020年度CO₂排出量実績

(t-CO₂)

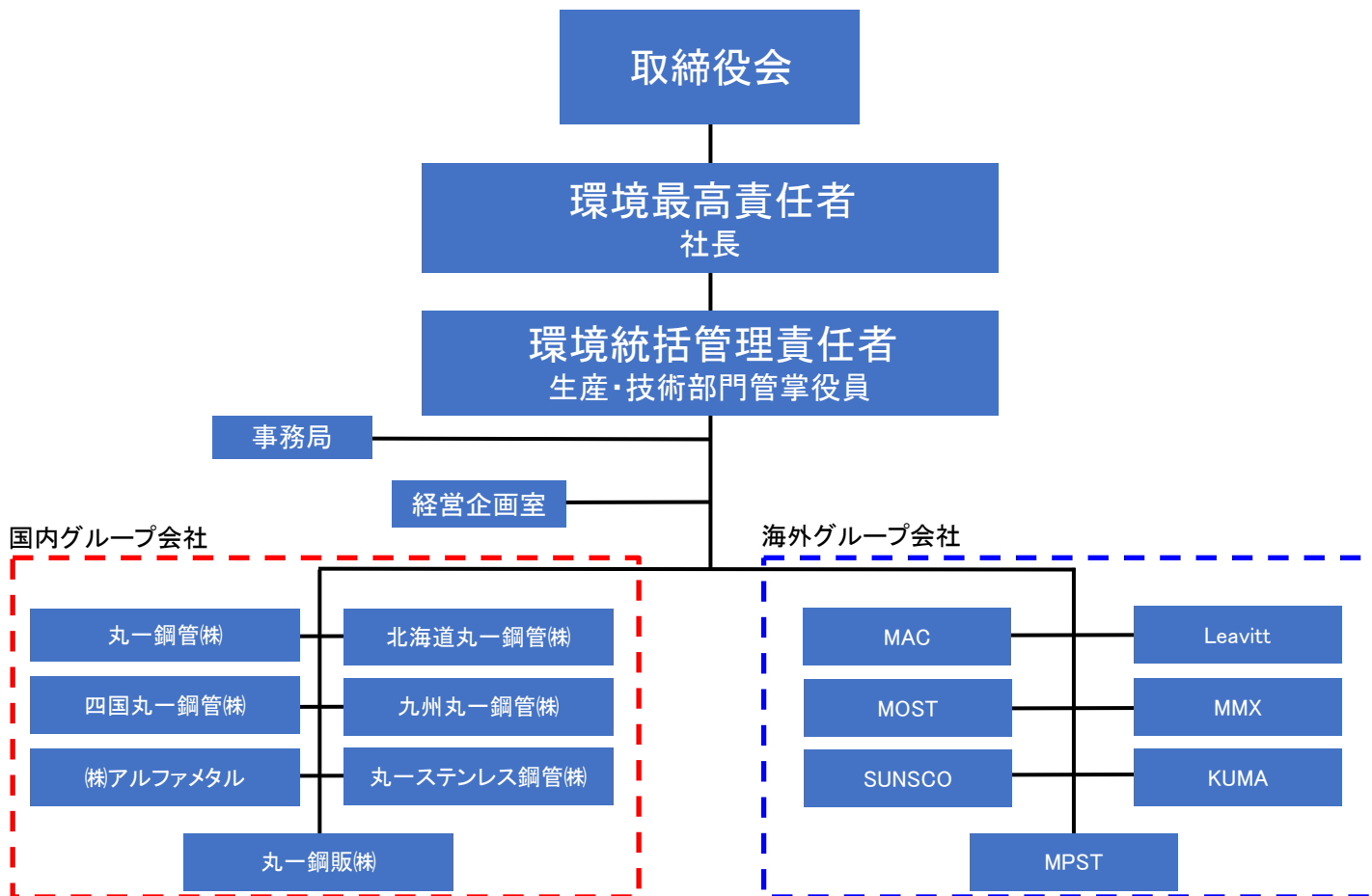
国内グループ	
スコープ1	23,994
スコープ2	65,930
合計	89,924
グループ全体(海外含む)	
スコープ1	51,015
スコープ2	142,509
合計	193,524

これまでの主な自社のCO₂削減活動

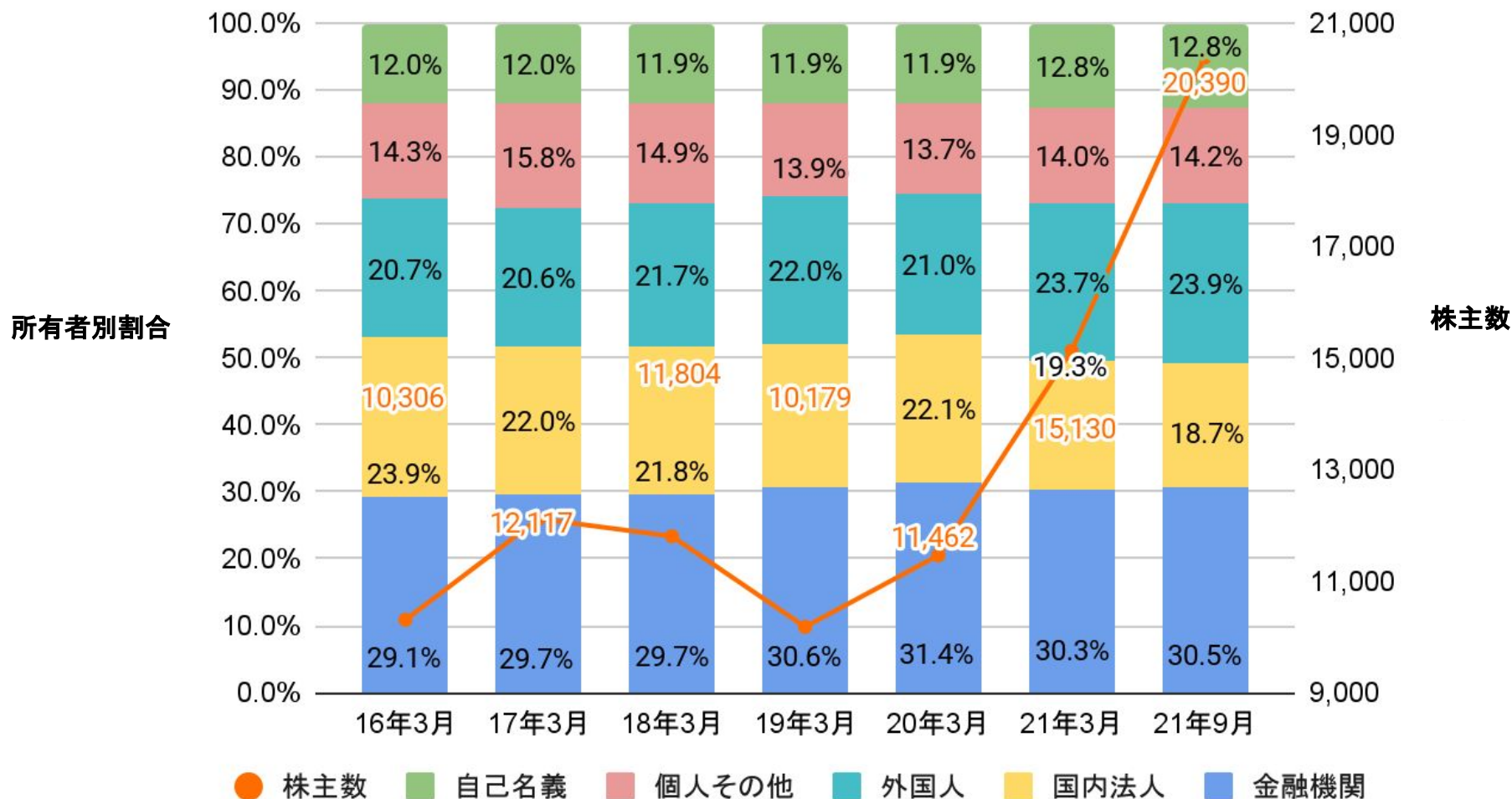
- ・溶接方法の改善 ⇒ 溶接効率20%向上 (2013年～2020年で12台更新済み)
- ・低炭素エネルギー源導入 (LPG⇒LNG) ⇒ 2100t-CO₂/年削減(実施年:2011年)
- ・めっきライン内ブロー方法の改善 ⇒ 400t-CO₂/年削減(実施年:2015年)
- ・太陽光発電設備導入 ⇒ 7620t-CO₂/年削減貢献(但し、FITで電力会社に売却)

丸一グループ カーボンニュートラル・環境委員会

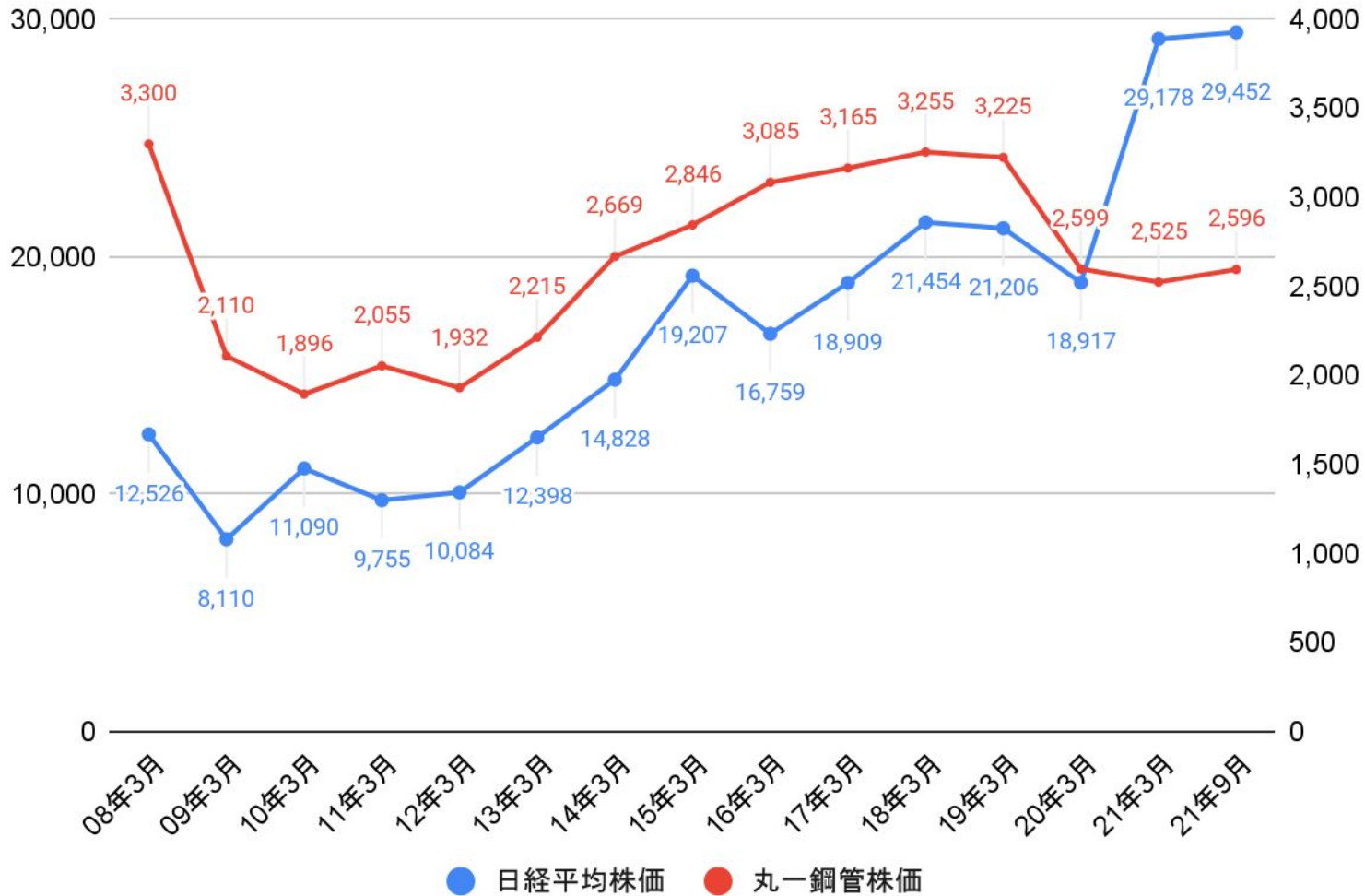
(2021年10月発足)



(参考資料)株主構成変化・株価の動き



2005年10月より単元株を100株へ引き下げ、2008年4月 自己名義株のうち、426万株を消却



(参考資料) 海外各社の概要と業績の推移

社名 Maruichi American Corporation (MAC社)

設立 1978年12月

所在地 カリフォルニア州

資本金 US \$ 7.5百万

株主構成 丸一鋼管 83.00%

丸一鋼販 8.00%

三菱UFJ銀行 5.00%

三井住友銀行 4.00%

※2021年3月 メタルワンの持分(30%)を取得

従業員数 62 人 (2021年6月末日時点)

生産実績 年間 53,100 MT

業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2016年12月	60	6
2017年12月	68	3
2018年12月	87	9
2019年12月	67	▲4
2020年12月 実績	57	1
2021年12月 予想	129	24



2インチミル



社名 Maruichi Leavitt Pipe&Tube, LLC (Leavitt社)

設立 1956年 (2008年資本参加)

所在地 イリノイ州 シカゴ

資本金 US \$ 25,225千

株主構成 MKK USA. INC 90.00%

米国住友商事 10.00%

従業員数 127 人 (2021年6月末日時点)

生産実績 年間 111,200 MT

業績の推移

(単位: 百万US\$)

	売上高	営業利益
2016年12月	90	5
2017年12月	106	6
2018年12月	127	10
2019年12月	101	▲6
2020年12月 実績	99	▲2
2020年12月 予想	199	53



2インチミル



社名 Maruichi Oregon Steel Tube, LLC (MOST社)

設立 2015年

所在地 オレゴン州 ポートランド

資本金 US \$ 55百万

株主構成 MKK USA ,INC 100 %

従業員数 40 人 (2021年6月末日時点)

生産実績 年間 36,500 MT

業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2016年12月	39	4
2017年12月	48	3
2018年12月	54	1
2019年12月	41	▲7
2020年12月 実績	39	▲3
2021年12月 予想	78	15



MOST社 2インチミル



社名 MARUICHIMEX S.A. de C.V.
(Maruichimex社)

設立 2012年1月

所在地 アグアスカリエンテス州

資本金 US \$ 2,080万相当

株主構成 MAC 30.00%

MKKUSA 30.00%

伊藤忠丸紅鉄鋼グループ 20.00%

豊田通商 20.00%

従業員数 85 人 (2021年6月末日時点)

生産実績 年間 10,500 MT

業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2016年12月	18	4
2017年12月	19	4
2018年12月	20	3
2019年12月	23	4
2020年12月 実績	20	3
2021年12月 予想	29	6



社名 Maruichi Sun Steel Joint Stock Company (SUNSCO社)

設立 1996年6月 (2006年資本参加)

所在地 ホーチミン 及び ハノイ

資本金 US \$ 130百万

株主構成 丸一鋼管 72.53%

豊田通商 9.73%

JFEスチール 8.00%

台湾株主 9.74%

従業員数 609 人 (2021年6月末日時点)

生産実績 年間 249,800 MT

業績の推移(ハノイ含む)

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2016年12月	202	17
2017年12月	226	▲1
2018年12月	230	▲3
2019年12月	207	0
2020年12月 実績	196	17
2021年12月 予想	288	24



Maruichi Sun Steel Joint Stock Company (ホーチミン)



Maruichi Sun Steel (Hanoi) Company Limited

社名 Maruichi KUMA Steel Tube Private Limited (KUMA社)

設立 2003年11月 (2009年資本参加)

所在地 ハリヤナ州 グルガオン マネサール、
バンガロール、グジャラート州

資本金 INR 113百万

株主構成 丸一鋼管 70.00%

豊田通商 30.00%

従業員数 112 人 (2021年6月末日時点)

生産実績 年間 26,800 MT

業績の推移 (単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2017年3月	41	4
2018年3月	57	6
2019年3月	56	6
2020年3月	51	4
2021年3月 実績	55	6
2022年3月 予想	57	6



グジャラート工場 (2020年2月新設)



バンガロール工場

社名	PT. Indonesia Steel Tube (ISTW社)	
設立	1972年12月	
所在地	ジャカルタ	
資本金	US\$ 435万 相当	
株主構成	丸一鋼管	20.00%
	メタルワン	60.00%
	現地	20.00%
従業員数	425 人 (2021年6月末日時点)	



ジャカルタ工場



ジャカルタ東部 チカラン工場



セマラン工場

社名	Maruichi Metal Product (Foshan) Co.,Ltd. (MMP社)	
設立	2005年4月	
所在地	広東省佛山市	
資本金	US\$ 1,800万	
株主構成	丸一鋼管	35.00%
	巨冠有限公司	35.00%
	Chung Mao Trading	15.00%
	豊田通商	10.00%
	メタルワン	5.00%
従業員数	196 人 (2021年6月末日時点)	



武漢工場



丸一金属制品(佛山)有限公司



丸一金属制品(天津)有限公司

社名 Maruichi Philippines Steel Tube Inc. (MPST社)

設立 2018年2月

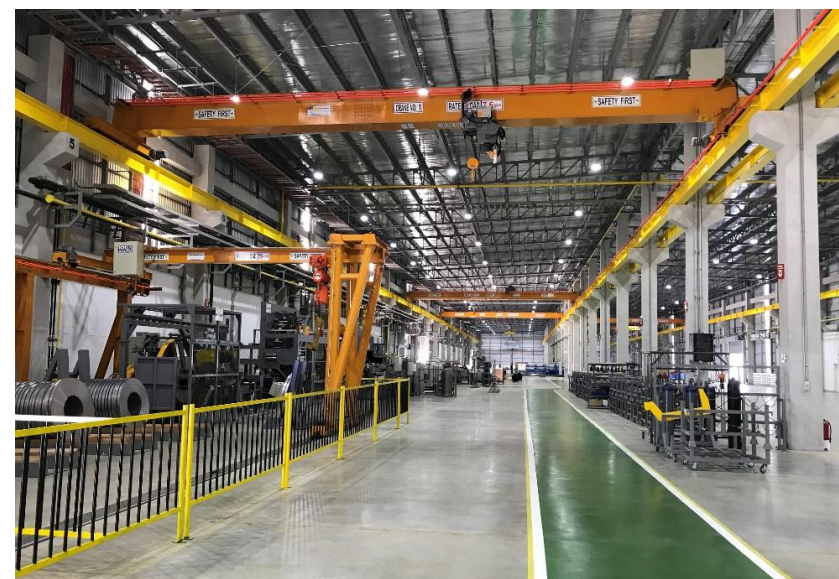
所在地 バタンガス州

資本金 US \$ 1,550万 相当

株主構成 丸一鋼管 70.00%

豊田通商 30.00%

従業員数 27 人 (2021年6月末日時点)

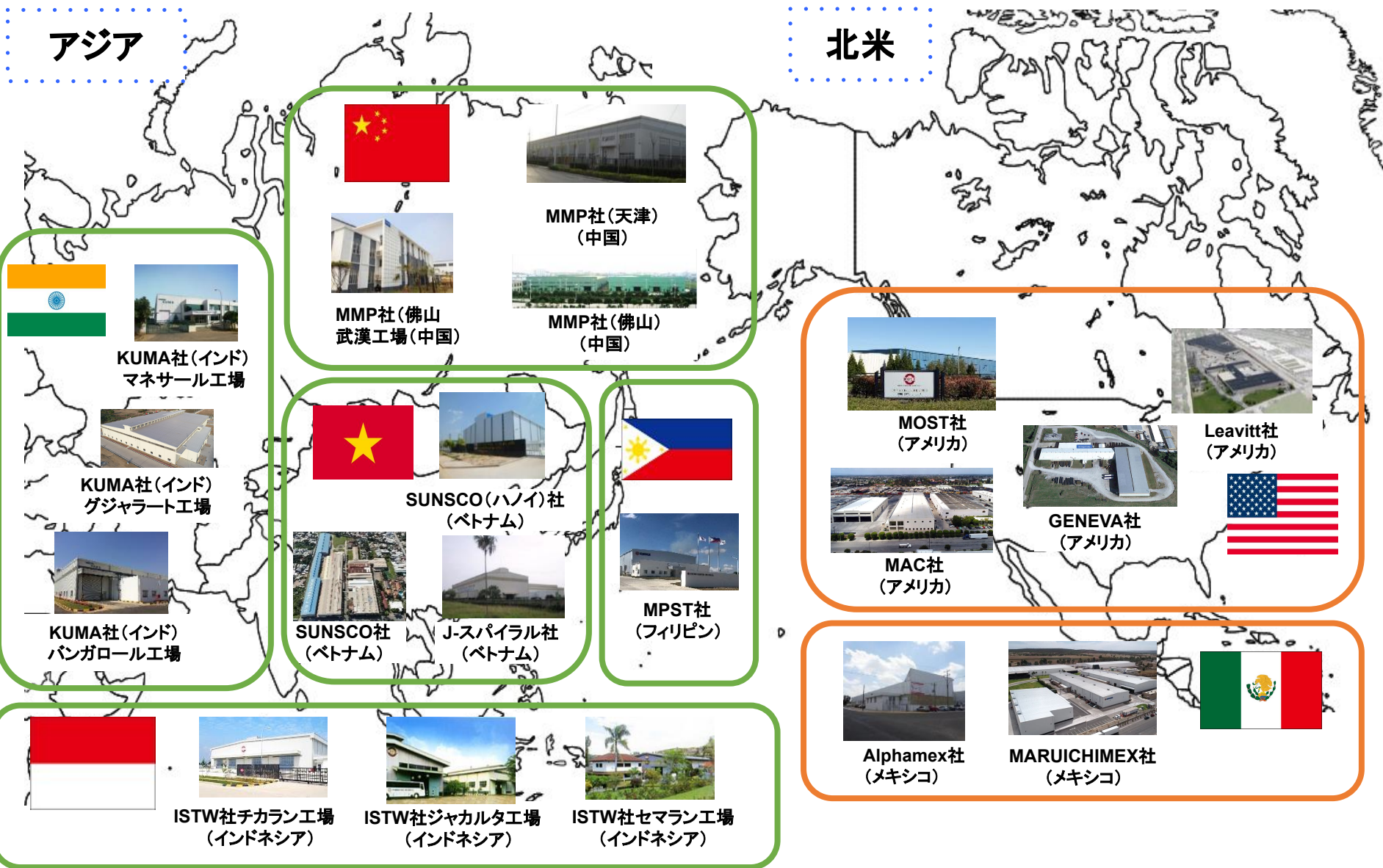


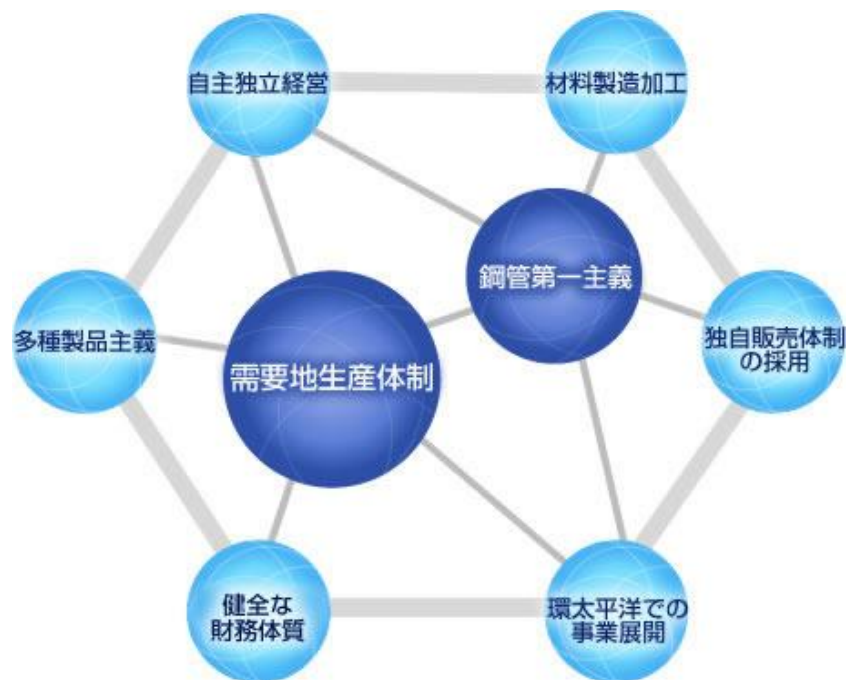
(参考資料) 丸グループの特徴

- わが社は、パイプのリーディング・カンパニーとして、すぐれた製品を供給し顧客の信頼に応えることにより、社会に貢献することを使命とします。
- わが社は、株主、取引先、従業員、地域社会等、すべてのステークホルダーを尊重します。
- わが社は、従業員一人一人の知恵と情熱と行動により、製品の信頼性、技術力、販売力を向上させ、将来に向けての成長エネルギーと新しい価値の創造を推進します。
- わが社は、すべての従業員にとって、その人生を託すにふさわしい、素晴らしい、夢にあふれた会社であり続けます。

アジア

北米





需要地生産体制

関連会社を含め北海道から九州まで 12 工場を展開しています。このことはユーザーへのサービス向上をはじめとして、流通コストの削減にも大きく貢献しています。

多種製品主義

ユーザーの多様なニーズに対応するために、多種製品を提供しています。

材料製造加工

諸間工場で加工・処理された最適品質の鋼帯が、丸一グループの各工場で使用されています。

自主独立経営

いずれの系列にも偏らない自主独立の経営を行っているため、仕入・販売先に関して制約を受けることはありません。従って常に最大利益を追求する事業展開が可能となっております。

健全な財務体質

健全な財務体質が、強力なバックボーンとなっています。

鋼管第一主義

鋼管及びその周辺業務を展開しています。

独自販売体制の採用

製品販売は「総合商社」「丸一鋼販」の2ルートを通じて行っています。丸一鋼販は自前倉庫を持ち、在庫販売も行っています。このシステムにより、顧客のニーズや需要動向・価格動向がビビッドに丸一鋼管に吸い上がるため、市場に敏感な経営戦略を常に立案することができます。

環太平洋での事業展開

ホットコイルや製品の需給市況等の潮流が把握しやすくなっています。

1926	自転車部品製造の丸一製作所を発足	1978	本社を大阪市西区北堀江に移転	2013	詫間工場 メガソーラー発電所 稼働	
1935	自転車鋼管の製造を始める		アメリカ MAC社を設立		SUNSCO社 第2CGL・CCL稼働	
1940	丸一鋼管工場と改称	1989	詫間工場を新設	2014	東京工場 集約完了	
1948	株式会社丸一鋼管製作所を設立		北海道丸一鋼管株式会社の札幌工場を 苫小牧工場に統合		Maruichimex社 連結子会社化	
1956	大阪出張所を改組し、丸一鋼管株式会社を設立	2000	新広島事務所・倉庫完成	2015	MOST社 連結子会社化	
1957	大阪工場を新設	2001	詫間工場に焼鈍設備を新設	2016	大阪工場 集約完了	
1958	東京事務所を開設	2002	東京第二工場新倉庫を建設	2018	フィリピン MPST社 設立	
	米国アビー・エトナ社製の電気溶接製管設備を 輸入し、電縫管メーカーに転換	2003	名古屋工場内に物流倉庫及び加工工場を増設		本社、大阪事務所、営業部電材課、 丸一鋼管本社、同大阪営業所を 大阪市中央区難波に移転	
1960	丸一鋼管株式会社と商号変更	2005	JFE大径鋼管の照明柱事業を継承	2019	フィリピン MPST社 操業開始	
	名古屋事務所開設	2006	名古屋工場寸法切り倉庫棟竣工	2020	コベルコ鋼管株式会社の株式を取得 丸一ステンレス鋼管株式会社に社名変更	
1961	東京工場を新設		中国 MMP社操業開始	2021	SUNSCO社 第2冷延ミル稼働	
1962	東京・大阪両証券取引所市場第二部に上場		東洋特殊鋼業へ出資		2021	米国GENEVA社 連結子会社化
1964	東京・大阪両証券取引所市場第一部に上場	2007	名古屋工場0.5インチミル増設			
	福岡事務所を開設		堺工場 第6工場の新設 設備稼働			
1965	堺工場を新設		詫間工場 メッキ炉改造工事 酸洗ライン トリミング設備設置			
1966	名古屋工場を新設 (昭和59年現名古屋工場へ統合)	2008	SUNSCO社・LEAVITT社 連結子会社化			
	広島事務所を新設		堺工場リニューアル工事完了			
1970	北海道丸一鋼管株式会社を設立	2009	インド KUMA社 子会社化			
	札幌事務所を開設		セイケイ 堺製造所 稼働			
1971	インドネシア ISTW社を設立	2010	アルファメタル 連結子会社化			
1972	特品工場を新設		SUNSCO社 16インチミル増設			
	大阪事務所を開設		SUNSCO社 HANOI社 操業開始			
1973	東京工場第二工場を新設		ベトナム J・スパイラルスチールパイプ社へ出資			
1974	四国丸一鋼管株式会社を設立	2011	中国 MMP天津社 稼働			
	九州丸一鋼管株式会社を設立		東京第二工場 ステンレス鋼管工場を新設			
1977	名古屋第二工場(現名古屋工場)を新設		堺特品工場 第2工場を増設			
		2012	中国 MMP社 武漢工場新設			
			東京第二工場 第3工場を新設			
			メキシコ Maruichimex社設立			

丸一鋼管グループの方向性について

丸一鋼管グループは、今般作成した第6次中期経営計画を確実に推進することにより、100年企業を目指して経営基盤を確固なものとし、また環境への配慮を更に進め、ゼロカーボンに向けた体制も早期に確立し、長期安定的な成長によるサステナブル企業グループを目指します。

Everywhere, MARUICHI

どこにでもある、 たったひとつの会社に。

「どこにでもある」には、以下の3つの意味が込められています。

- ①生活のどこにでもある(くらしのなかの様々な場面で丸一鋼管の製品が活躍している)
- ②日本のどこにでもある(需要地生産体制のもと、全国各地に生産販売ネットワークがある)
- ③世界のどこにでもある(加速するグローバル展開により、世界各地に拠点がある)

「どこにでもある」、唯一無二でユニークな「たったひとつの」会社へ。



事業の深化と進化による収益性の向上

- デジタルトランスフォーメーション(DX)の導入
- オープンイノベーションの推進
- 社会課題解決を意識したグローバル展開の加速

新領域への果敢な挑戦

イノベーションを生む組織への変革

注意事項

本資料の計画・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの計画・見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。